

関東支部の紹介

日本土壌肥料学会は、約 90 年もの長い間、土壌、肥料そして植物の養分吸収などの栄養についての研究を通じて、私たちの健康と福祉に寄与することを目的として、例えば、作物生産に深く関わる基礎研究とそれに基づいた農業技術の開発に貢献してきました。現在、日本土壌肥料学会には、6 つの支部があり、その一つが関東支部です。個人会員数 2518 名(2010 年 1 月現在)の約 40%に相当する 1011 名の会員がいて、支部の中では、最も大きな組織です。支部会には、支部会員が所属する主な組織(大学、独立行政法人の研究機関、各県の農業研究や普及センター、全農や農協、民間の肥料会社や環境コンサルタントなど)から選ばれた会員で構成する幹事会が置かれています。ここでは、毎年 1 回のシンポジウムと講演発表から構成される支部大会を開催しています。2009 年 6 月に信州大学理学部で開催された長野大会では、36 題の一般講演と公開特別講演として、松島信幸氏による「伊那谷の活断層と・山と盆地の履歴から」が行われました。



図2 大豆の不耕起播種(千葉県)

報告、学会に関連したホットな話題紹介、支部会員相互の交流などを目的に東照雄前支部長(筑波大学)により関東支部ホームページが立ち上げられました。その後、支部事務局の引継ぎにより、更新が遅れていますが、近日中には内容の充実を図る予定です。関東支部活動の一環として、関東支部管内で実施される「土壌教育関連事業」に対して支援を行い、一般市民に対する土と肥料の啓発推進に寄与したいと考えています。



図4. イチゴハウスでの土壌採取(埼玉県)



図1 果樹園で土壌採取(神奈川県)

12 月 5 日には、埼玉県坂戸市の女子栄養大学で 2010 年度埼玉大会を開催します。なお、この支部大会につきましては、全国大会との兼ね合いにより開催時期や内容などに関して、これまでの支部総会でさまざまな意見が出されています。2011 年度以降の支部大会については、そのあり方の検討を進めていきます。

2010 年 2 月には、支部の活動



図3 土の観察会(茨城県)



図5. みんなで田植(山梨県)